



市民の皆さんの声を聞く (第8回議会報告会)

5月12日、福良地区公民館で、議会報告会を開催し、3月定例会の報告及び市民の皆さんとの意見交換を行いました。

詳しい内容については2ページに掲載しています。



南あわじ市議会ホームページ
<http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/gikai/>

主な内容

- 議会報告会 P 2
- 第72回定例会の結果 P 3~7
- 一般質問 P 8~14
- 議会活動日誌 P 15
- 委員会調査レポート P 16~18
- 政務活動費実績報告 P 19



▲議案を審議する議員

第72回南あわじ市議会定例会が、5月31日から6月21日まで開かれ、提案された条例や補正予算、人事同意案件など31件は、すべて原案どおり可決または同意・承認された。
一般会計補正予算(第1号)は、守本市政としての肉付け予算12項目、9200万円を盛り込んだ、総額1億9270万円追加となった。
なお、人事案件19件は、農業委員の選出方法が「市長の任命制」に変更されてから初めての改選で、女性委員4人を含む19人が同意された。

貴重な意見を議会に反映

第8回 議会報告会を開催



▲あいさつをする印部議長

5月12日に福良地区公民館で32人の市民に参加いただき開催、議員から3月定例会の報告を行い、質疑応答や意見交換を行いました。
頂いた意見や要望は、今後の委員会での調査等に活かすとともに議長から市長へ文書で送付しました。
意見交換での主な質疑は下記の通りです。なお、詳細については南あわじ市議会ホームページに掲載しています。

〈会場アンケート結果〉

参加者の75%が男性で、年齢構成では60歳以上が71%であった。
開催希望回数では年1～2回が68%、3～4回が25%。旧町単位での開催や、全体的な説明ばかりでなく的を絞った報告をして欲しい、小グループでのディスカッションやワークショップ形式での開催をしては、などの意見があった。

- 一般会計補正予算（総額1億9,270万円の追加）
 - 第2次南あわじ市総合計画(基本構想)の策定
 - 湊地区公民館改修工事請負契約の締結
- など31議案を可決

6月定例会の日程

- 5月31日 定例会第1日目
(議案上程ほか)
- 6月9日 定例会第2日目
(一般質問)
- 〃 12日 定例会第3日目
(一般質問)
- 〃 13日 定例会第4日目
(一般質問、議案追加上程)
- 〃 15日 産業厚生常任委員会
(議案審査)
- 〃 16日 総務常任委員会
(議案審査)
- 〃 21日 定例会第5日目
(採決ほか)



▲改修工事を行う湊地区公民館（6ページ参照）

市民との意見交換

■ 防災について

問 高知県黒潮町は防潮堤の設置をあきらめた取り組みをしているが、福良湾の防潮堤はどのように進んでいるのか。

答 県の事業で5か年計画で進めている。阿万地区は防潮堤の嵩上げ工事、塩屋川は樋門工事が進んでいる。黒潮町は避難優先で取り組んでいる。

■ 陸の港西淡について

問 陸の港の増築工事があるが駐車場が少ない。植栽部分の活用は出来ないか。先に駐車場を造って欲しい。

答 駐車場が少ない件は認識している。駐車場の増設は市に要望する。

■ 吉備国際大学について

問 吉備国際大学の学生の定員割れをどう考えているのか。市から補助金も出ており、大学は市民にもっと情報を出すべきだと思うが。

答 入学者が少ないのは何とも言えない。来年、醸造学科が設置される予定であるので期待したい。市民向けの公開講座が開催されている。八木馬回地区では空き家に学生が下宿して農作業や祭りなどに参加して交流するなど特色ある取り組みも行われている。

■ 公共交通について

問 公共交通の淡路交通線に三市で一億円ほど助成しているがもっと充実出来ないか。市内ではコミバスがあるが乗り継ぎが複雑で利用しにくい。

答 市長も淡路三市での連携も検討している。これからである。

空家等対策事業費などを追加

平成29年度一般会計補正予算(第1号)

■議案内容
歳入歳出それぞれに1億9270万円を追加する。

■主な質疑

歳出

▼業務改革プロジェクト事業
委託料1400万円

問 庁内業務の改革を考えているのか。

答 業務内容の見直しと再点検を行う。業務量を把握して適正な職員の配置を行う。単純な事務処理は機械化や外部委託をする。

▼地域づくりチャレンジ
補助金300万円

問 どのような使い方、事例があるのか。

答 事業の立ち上げに対する補助金。例えば古民家の再利用に対する補助、地域の中で交通弱者に

する交通手段としての車の購入、地域の公園内の遊具の購入等がある。

▼高齢者等元気活躍推進事業
導入支援業務委託料
1420万円

問 委託内容は。

答 シニアの活躍の場や、労働力



▲ドローンを使って災害箇所などの撮影を行う

の発掘への支援業務、ボランティアポイント管理システムの検討、プロジェクトチームの支援業務、制度導入にかかる総合的な管理業務等である。

▼農工商連携・地域資源
プロモーション業務
委託料900万円

問 事業の目的は。

答 メディアを通じて集客増を目指す。交流人口を増やすために、マスクミを通じて観光客に来ていただく流れを作る事業である。

▼農用地空撮業務委託料
1千万円、ドローン利用
生産性向上業務委託料
1500万円

問 どのような目的の業務なのか。

答 従来の多面的機能支払業務にドローンを使って空撮する。災害箇所の確認や鳥獣被害でのサーモカメラを使った生態状況把握、海上からサクラマスやワカメの生育状況の確認をする。

▼新製品・新技術開発等支援
補助金300万円

問 1事業につき最大補助金はい

くらか。

答 1事業に対し上限100万円。補助対象は機械工具・機械装置購入、製造、改造、借用、技術指導費、新製品に係るニーズ調査費等。補助金の決定は専門家等で審査会を開催し、プレゼンテーション方式で決定する。

▼源泉調査業務委託料
1300万円

問 湧出量が心配な箇所が2か所あるが、調査箇所を1か所とするのはなぜか。

答 調査箇所は昨年に引き続き「うずしお温泉」に代わる源泉調査1か所とし、湧出量等確認できた後、他の調査箇所を検討していく。

▼空家等対策実態調査業務
委託料1500万円

問 今後の展開は。

答 危険空家については除却、活用できる空家は利活用。市内全域の調査を行い所有者に意向を聞き、危険度に応じて点数をつける。

■議決結果

賛成多数で原案可決

低所得者の国民健康保険税 軽減対象者を拡充

国民健康保険条例の一部改正

賛成 原口 育大議員

■議案内容
国民健康保険税において低所得者の軽減対象者を拡充する。

■主な質疑

問 今回税率改正が行われなかったのは。

答 来年度からの新しい制度に備え、適正な規模の基金を持ったなかで、安定的な国保運営を行うためである。

■討論

反対 蛭子 智彦議員

■討論要旨

国保税の減免額基準の引き上げについては、同意できるが、低い医療費、高い国保税の構造にメスが入っておらず市民の負担は増えるばかりである。法定外繰り入れを行い国保税を下げるべきである。



■議決結果

賛成多数で原案可決

■討論要旨

今回の改正は、低所得者の国保税軽減を拡充するもので、財源は国から措置され、市にも市民にもありがたい改正であり賛成する。もし否決されると低所得者の国保税軽減拡充が本市だけ実施できない事態となってしまう。

これからの南あわじ市の将来像

第2次南あわじ市総合計画(基本構想)の策定

■議案内容

南あわじ市における10年後の将来像とめざすべきまちの姿を示す計画を策定する。

■主な質疑

問 第1次総合計画の達成度、また検証は。

答 平成28年3月に進捗状況の評価を行い、19の施策目標ごとに達成度・重要度をランキング形式で評価した。

問 「魅力ある働き場」とは。

答 若い人が帰ってきたいと思うような魅力の場

市内で生活できる雇用創出の場である。

問 エネルギーと食料自給率の向上の取り組みは。

答 「あわじ環境未来島特区」の指定も受けてお



▲南あわじ市の10年計画を定めた総合計画(詳細は市のホームページに掲載しています)

議決結果一覧

議長は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対)

■賛否の分かれた議案

Table with 13 columns: 提出者, 議案名, 議決結果(議会の意思), and 12 columns for council members' votes (中村三千雄, 川上命, etc.).

■全議員賛成の議案

Table with 3 columns: 提出者, 議案名, 議決結果(議会の意思).

■人事案件

[敬称略]

農業委員会委員の任命

同意 伊達 勝繁 (広田) 伊達 修文 (倭文) 伊達 修代 (松帆) 伊達 光男 (湊) 伊達 信司 (西淡志知) 伊達 孝義 (榎列・倭文) 伊達 文夫 (八木) 伊達 雅彦 (市) 伊達 小代子 (市) 伊達 好宏 (神代) 伊達 清一 (三原志知) 伊達 康弘 (賀集) 伊達 裕美 (賀集) 伊達 善久 (北阿万) 伊達 善章 (阿万) 伊達 文恵 (阿万)

任期 平成29年8月1日 ~平成32年7月31日

ちどり保育所と福良保育園を統合 保育所設置条例の一部改正及び財産の譲与(ちどり保育所)

■議案内容 公立のちどり保育所と私立の福良保育園を統合し、「公私連携幼児保連携型認定こども園」を設置するため、ちどり保育所を廃止し、その財産を社会福祉法人むつみ福祉社会に譲与する。

■主な質問

問 公立による認定こども園の運営という選択はなかったのか。 答 社会福祉法人むつみ福祉社会は、地域で長い歴史と実績を積んだ法



▲平成30年4月から新しく「福良こども園」に生まれ変わるちどり保育所

■議決結果

賛成多数で原案可決

人であるため、運営を任せる事が妥当である。 問 市と法人との協定案には、第三者評価や運営協議会の設置など、園の運営状況を監視する体制があるが、内容は公開されるのか。 答 運営協議会には保護者も参加する。市も共に運営状況を検証し開示を行っていく。

生涯学習の交流拠点となる 社会教育施設に 湊地区公民館改修工事請負契約の締結

■議案内容

湊地区公民館改修工事請負契約を2億1346万2千円で(株)森長組と締結する。 旧西淡第2庁舎を解体し、現在の公民館にエレベーター・トイレ棟を増築し、さらに事務室の新設、キッズスペース及び授乳室の新設、老朽化部分の改修を行う。

■主な質疑

問 設計図によると、玄関からエレベーターまで距離がある。高齢者や障害者への配慮が足りないのではないかと。 答 市民交流センター及び地域づくり協議会の意見を聴き、福祉のまちづくり条例に基づいて設計した。

■委員間討議

施設の利用性向上を求める要望には、現在の設計を基準に、工事金額に大幅な増減が発生しない範囲で対応可能ではないか。

■討論

反対 吉田 良子議員

■討論要旨

公民館の老朽化工事は必要であるが、庁舎解体に伴う新たなエレベーターの位置が玄関から距離があり高齢者、障害者にとって使いづらい設計になっている。また玄関の新たなスロープの設置などが必要である。

■議決結果

賛成多数で原案可決

一般質問 市政を問う

6月9日、12日、13日の3日間にわたって、13人の議員が市政を問いました。
なお、市ホームページでさんさんネットで放送した「一般質問」の番組を
動画配信していますのでご覧ください。

閲覧
方法

「市のホームページ」→「南あわじ市議会」→「録画放送」
→「一般質問の録画配信」

●答弁者は次のとおり表記しています。

市長→**長**、教育長→**教**、総務部長→**総**、企画部長→**企**、危機管理部長→**危**、福祉部長→**福**、
農林水産部長→**農**、農林水産部付部長→**連**、建設部長→**建**、教育次長→**次**

障がい者の介護保険自己負担は 免除できるのではない

問 障がい者が65歳になると、介護保険が適用され、自己負担が発生するが、厚生労働省は「心身の状況に応じ、一律に判断することは困難」との見解を示し、障がい者福祉サービスの継続も可能との判断をしているが、認識は。
福 厚生労働省通知の中身も認識しながら事務手続きを進め、対応したい。
問 障がい者は行政が頼り。頑張っしてほしい。

らんらんバスに工夫を、地域主体の運営での改善求める

問 淡路市の長沢地区のコミュニティバスでは地域主体の運営で住民の満足度が上がっている。市民交流センターの管理方式も検討してはどうか。
長 良い方法とは思いますが時間がかかる。まずできるところから手を付けたい。

吉備国際大学、大学の努力で学生の確保を求めるべき

問 入学者が毎年減っている。大学の努力が足りない。大学の資金は豊かとい

う。施設整備、PRに資金投入して学生募集を行うよう求めるべき。
企 今後それらを充実していくようにお話ししていきたい。

西淡庁舎跡地利用、住民とともに進めよ

問 跡地利用の住民の声を生かし、積極的に進めるべき。
長 工夫次第である。住民の方と一緒に創り上げていくべきものと思っ



▲旧西淡庁舎の跡地

日本共産党南あわじ市議員 蛭子 智彦 議員

解体工事に最低制限価格は 必要ない

問 最低制限価格の目的は。
総 ダンピング、手抜き防止、品質確保、下請業者へのしわ寄せなどである。
問 解体工事に品質低下はあるのか。
総 安全対策の低下、下請業者へのしわ寄せがある。
問 入札審査会は何を審査するのか。
総 資格審査の選定、指名停止の認定。また参加者の選定である。

総 確かに財政的に低い受注は良いが、基準が必要である。
問 低入札価格調査制度導入し、契約前の調査システムを作れば、どれだけ住民の要望にお金が回るのか。
総 専門的な職員が少なく調査する体制づくりが困難である。
問 東京都が競争入札制度を撤廃した。入札制度改革が必要である。

次 当然職員が前向きに考える必要がある。
問 教師の個人評価はしづらい、先生との信頼感をつくり、生徒の良い所を見つけてる思いやり、信頼できる教育委員会をつくり上げていただきたい。
教 教師の理想像は基礎的知識と技能、情熱を持って子どもに成長に深く関わり、喜びを感じる教師を育成していく。



問 最低制限価格撤廃で市の財政が賢い支出になるのでは。
問 青森中学2年生、仙台市では3人の中学生が命を絶っている。教師が生徒の口にガムテープを、教師の暴力、不信任を抱かれた教育委員会がまだまだ閉鎖的でないか。



▲旧南淡庁舎の跡地

市民連合・無所属クラブ 長船 吉博 議員

ジュニア防災士の養成を

問 舞子高校生から学んだ中学生や小学生を地域の防災活動にどう活用していくのか。
次 地域づくり協議会などで、発表の機会を考えていただけたらと思っっている。現時点では学んだことを同じ学校、家族などあらゆる形で広めていければと思っっている。
問 ジュニア防災士資格についてどのようになっているか。

次 防災ジュニアリーダー養成事業としてやっていくのが、今回の目的であり、現

時点では資格まで考えていない。今後、防災士の資格の部分にも及んで行けたらと考えている。

観光、産業を育成する組織を立ち上げては

問 DMOとは。
連 地域の中で、一元化して地域を売り出す組織。
問 DMOの立ち上げに向けた市の取り組みは。



南あわじ市公明党 熊田 司 議員

長 DMOは人を引き付けるための組織。単独の組織体である必要はなく、観光協会・交通や市役所などの連合体でもよい。その意味では、今までDMOの活動を続けてきている。今後、単独の事業体を作るかどうかの議論は必要だが、目指すところは淡路島を観光地として、また、産品をブランドとして売っていくこと。今回、そのための部長職をつくった。

これからの「暮らす」を創る
南あわじ市へ

南あわじ市議会青年団 太田 康文 議員



問 らんらんバスについて。利用目的が買物、通院、通学が全体の70%、乗り換え方式ではなく直接的な目的地まで行く事はできないか。

建 直通で行ければ、利便性が高まるが乗継ぎ便を増やす方向で検討していく。

問 通学者向け学生年間パスポートはできないか。

建 必要性は理解できる。市外通学者との平等性、料金体系等が検討課題。

長 できないことはない。これからの

問 公園について。遊具の規制が厳しくなる中、今後の公園遊具はどうあるべきか。

長 どこにどんな遊具を置くのがいいか、注意深くやっていく。まずは今年度、各地域の公園環境の調査を行う。



問 公園不足が問題視されている。イングラウンドの丘年間パスポートである「市民サポーター制度」の普及率を高めるべき。まずイングラウンドの丘陵の食の拠点情報発信基地で、土日も発行できるようにできないか。

企 職員の体制などを協議して、検討していく。

ゆるはクラブ 原口 育大 議員

学童保育の時間延長の実施を



問 保育所の延長保育は集約的に行われており、必要な園児は、住所地以外の保育園に通わせることができるが、学童保育は、地元で開設されている場合は校区を超えて利用できないと聞いている。しかし、共働きの人で、小学生の学童保育の延長と保育園児の延長保育、これが同時に必要な人には、下の子の延長保育を実施している施設まで、学童をタクシーで移動して対応することを、特例で認めてはどうか。その場合は、



▲地元農家と獣害防止用金網の設置作業をする吉備大生(八木馬回)

問 保育所の施設が学童を受け入れることも必要だが、実際に市内で保育所が学童を受け入れている場所もあり、できないことはないと思うがどうか。

教 地元の方々のニーズも十分聞きながら、教育委員会として前に向きに検討していきたい。

長 即答はできないが、最大限、何ができるか考えたい。

問 八木地区では、吉備大生が、空き家をシェアハウスにして住み、農作業を手伝ったり、行事に参加したり、アルバイトをしたりと、いろいろな活動している。すばらしいと思うが、

企 昨年は4人の学生が、空き家2軒に住み、地元活動に参加し、非常に助かっている。

吉備大生の特徴ある取り組みのPRを

誠道クラブ 谷口 博文 議員

陸の港西淡の大規模改修の事業計画



問 陸の港西淡の大規模改修の事業計画予算、用途、運営はどのようにするのか。

建 国の補正予算、地方拠点整備交付金、全体事業費で約1億円程度で、高速道路側に120㎡増築する。南あわじ市の交通の玄関口とし、観光の情報発信、特産品展示、販売、それから南あわじ市のコミュニティの情報案内、利用者がくつろげるカフェスタンド等予定している。来年3月を目途に工事に入る。管理者を委託に

問 陸の港西淡の駐車場の増設について考えは。

長 駐車場が相当きついなという事も承知していて、頭を悩ましているのが現実。今後使い勝手を更に良くするので、いろんな可能性を考えていきたい。今まだ答えを持っていないのが現状である。

問 内水対策、志知川、倭文川右岸・左岸の排水機場の事業実施計画は。

建 入貫川、志知川の内水対策事業という事で、29年度の排水ボ



▲改修する陸の港西淡

問 陸の港西淡の大規模改修の事業計画を予定している。倭文川については、本年度両岸のポンプの詳細設計、出来れば、右岸側が年度内にポンプ発注が出来ればと考えているが、両岸の詳細設計という事で計画している。

問 その他、松帆銅鐸、インバウンドの取り組み等の質問をした。

誠道クラブ 阿部 計一 議員

亀岡荘の耐震リフォームについて



問 亀岡荘は完成から約半世紀になり、老朽化しており、市として今後の対応は。

長 市が所有する公共施設の老朽化、耐震化については、公共施設等総合管理計画の中で検討している。基本的には施設の長寿命化をはかりながら、施設の統廃合をはかっていきたいという考えであり、公共施設の集約化を検討するに当たっては、各施設の稼働率、利用等を調査し、検討していきたい。

問 亀岡荘の空調施設について。

問 健康づくりや学校教育、リハビリなどの医療分野で注目されているスポーツ、パークゴルフ場の建設について。

長 指摘のパークゴルフというお



▲耐震・リフォームが必要な亀岡荘(阿万)

話 であるが、市には遊休土地が今の所ない。市にそういう場所が出来たらスポーツ施設の一つのオプションだと思っている。私もスポーツでまちを元気にすることを忘れずにやっていきたいと思っている。

高齢者等元氣活躍推進事業について

成相クラブ 柏木 剛 議員

市長の最も力点を置かれている事業、「シニア層の仕事づくり」による健康寿命の延伸、そして地域経済循環。超高齢者社会の克服モデルとして全国に発信のインパクトが非常に大きいと思う。平成30年度試行との事、予想される課題は。



必要がある。一つの事業に即して、「こういうふうにはやらないか」というものを拡大していく、そういう気の長い作業をこれからスタートしていくことだろうと思っている。



介護保険サービスを後退しない取組を求める

日本共産党南あわじ市議員 吉田 良子 議員

来年4月から要支援の方のホームヘルパー、デイサービスが市の独自の総合事業としてサービスを提供するが要支援者の人数はどうか。



サービス内容はどうか。個人負担、サービス内容は変わらないうえ、ただ緩和したサービスについては事業者と協議し決めていく。

総合的に検討していく。介護認定を申請する仕組みが変わるが、きめ細かな対応が必要ではないか。一人暮らしの方を含め必要なサービスを提供したい。ただ方向性が固まっていけないが努力していく。

市民が住宅の外装、水回り、畳表替えなどを市内建設業者でリフォームをした場合、市が助成する制度が全国で広がっている、市内で経済が

通勤・通学者交通費助成
高速バスの利用による居住地からの通勤・通学を奨励するため、交通費の一部を助成。...

市政について

ゆづるはクラブ 小島 一 議員

最強の市役所とは。

こういう風になりたいという部分を引き張り出して、どうすれば実現をしていけるかを一緒に考えて実行するのが、基礎自治体の最大の使命と考えている。



今後、従来型の知識を習得する研修に加え、能動的な実践型、参加型の研修メニューも組んで、職員に徹底させていきたい。

シニア層の活躍について、ボランティアポイントや地域通貨での報酬は、仕事とするのであれば、少し厳しいのではないか。



▲南あわじ市役所本館

辰美中学跡地に専門職大学の誘致をしては

うずしおクラブ 木場 徹 議員

市は跡地にどのような企業を希望しているのか。

教育、福祉関係で地元や地域環境に配慮できる企業が望ましい。



空き家、空き地対策を急げ
空き家が5年間で250戸増えたが特措法施行で問題解決、改善が出来たか。



▲県立淡路景観園芸学校

空き家の情報は地元へ提供できるか。可能な場合もある。忙しい教師の負担軽減策は文科省実態調査で教師の仕事量が増えていると報告されたが。

政真クラブ 廣内 孝次 議員

ゆづるはクラブ 登里 伸一 議員

道路整備について

問 大榎列古津路線の突き当たりで、大変危険な通学道路となっているJ A 榎列支所と榎列小学校角のクランクとなっているが、道路の改修は、

建 旧西淡方面から市役所新庁舎等を結ぶ幹線道路と認識している。

長 地元調整の問題もあるが、取り組みたい。

問 入田地区ほ場整備計画では、入田おのころ線の道路延長はどうなるのか。

農 成相橋を新設し、2車線の道路をつなぐ。



建 橋については、設計を始めている。

問 イングランドの丘の前から国道までの道路延長は、

建 法線的に難しい。西淡方面から国道まで通れば一番いいところだが、現段階では、

問 イングランドの丘までの道路である。

建 幡多山線の延長は、

問 三原川の右岸道路へ抜く考えである。

問 市榎列線、歩道の設置は、

建 グリーンベルトで対応したい。

問 洲本松帆線成相川沿い掃守の細い部分の幅は、

建 自治会への話はあるが、事業の可能性は低い。

問 広田八幡前から山添橋まで幅は、



榎列小学校前の通学路

建 地元から要望があり用地交渉は再開している。調整が整えば、実施に向けて計画する。

日本遺産認定について

問 日本遺産認定の大和・大園・魂神社に県道からの案内看板の設置は、

企 3市の委員会で共通的な看板を考えたい。

問 日本遺産認定のメリットを活かすことを要望する。

地方自治・分権への見解をきく

長 先進国の制度を取入れ、地方に広げる時代の中央集権から、地方分権の時代となり、高齢化社会等、外国には学べず、自ら社会システムを作っていく時代になってきた。

力を持つてくるのは現場を預かる方で、住民が意識を共有し、具体的な仕組みを作っていく。その中で基礎自治体の役割は非常に重要であり、地方が自主的に取り組んでいくことが、実質的に国と対等・協力関係になっていくことだと考える。



津井小学校跡地の「福祉の里」について

問 施設整備の内容と進捗状況は、

福 特別養護老人ホーム50床、老人短期入所施設20床、通所介護20人、グループホーム18床、サービス付高齢者向け住宅12床、瓦葺き、公園整備等である。28年度に校舎解体撤去、公園整備中で30年4月オープンであったが、法人



▲平成16年に受けた水害(旧西淡地域)

の事情で県の内示が遅れ、約一年程度遅れる。

湊地区の安全・安心

問 水害対策・空家対策は、

建 三原川水系広域河川改修事業は189・6億円、62%の進捗状況。湊港排水機場・旧庁舎近くの排水機場も改修する。市内空家2090戸を調査し、空家対策推進要綱を策定して、対策を進めていく。

議会活動日誌

4月～6月の議会の活動状況について次のおり報告します。

4月

- 3日 吉備国際大学入学宣誓式 (副議長、総務副委員長)
- 3日 消防団幹部辞令交付式 (議長)
- 3日 消防団幹部初顔合わせ懇親会 (議長、総務委員長)
- 6日 政治倫理条例に関する調査特別委員会 (議長)
- 7日 平成淡路看護専門学校入学式 (議長)
- 8日 戦没者追悼式 (議長)
- 11日 議会広報広聴常任委員会 (議長)
- 13日 産業厚生常任委員会 (議長)
- 14日 東播・淡路市議会議長会定例会 (議長)
- 17日 神戸海上保安部巡視艇あわぎりなだ

かせ就役披露式 (正副議長)

18日 議会広報広聴常任委員会 (議長)

19日 近畿市議会議長会定期総会 (副議長)

20日 総務常任委員会 (議長)

21日 議会運営委員会 (議長)

23日 市長杯バタック大会 (副議長)

24日 消防団幹部新入団員訓練 (議長)

27日 いすみ会総会 (議長)

28日 兵庫県市議会議長会総会 (正副議長)

29日 淡路たんじり祭 (議長)

2日 政治倫理条例に関する調査特別委員会 (議長)

5月

2日 政治倫理条例に関する調査特別委員会 (議長)

7日 連合PTA総会 (議長)

8日 総務常任委員会 (管内調査)

10日 兵庫県市議会議員公務災害補償組合議会定例会 (議長)

11日 健康大学講座開講式 (議長)

12日 議会報生会 (議長)

13日 高齢者大学「うす」お学園開講式 (議長)

14日 鳴門市市制施行七十周年記念式典 (議長)

17日 兵庫県市議会議長会総会 (議長)

17日 議会広報広聴常任委員会視察研修 (議長)

17日 食品衛生協会通常総会 (議長)

18日 淡路消費者団体連絡協議会総会及び消費者月間記念講演 (副議長)

2日 政治倫理条例に関する調査特別委員会 (議長)

2日 政治倫理条例に関する調査特別委員会 (議長)

6月

- 19日 淡路政経懇話会5月例会 (副議長)
- 23日 議会運営委員会 (議長、総務委員長)
- 24日 商工会通常総代会 (議長、総務委員長)
- 24日 人権教育研究協議会総会 (副議長)
- 24日 鯉供養祭 (副議長)
- 24日 全国市議会議長会定期総会 (議長)
- 24日 淡路瓦工業組合通常総会・懇親会 (議長、総務委員長)
- 25日 市議会議員共済会理事會及び代議員会 (議長)
- 26日 老人クラブ連合会総会並びに研修会 (副議長)
- 26日 政友会総会 (議長)
- 27日 「2025問題・地域医療構想」講演会 (議長)
- 29日 政治倫理条例に関する調査特別委員会 (議長)
- 30日 兵庫県立淡路文化会館運営協議会 (議長)
- 30日 シルバー人材センター定時総会 (議長)
- 31日 議会定例会第1日 (議長)
- 2日 地方行政課題研究会 (議長)

行政視察の受け入れ状況

月日	議会名	調査内容
4月11日	淡路市	兵庫県淡路広域防災拠点の備蓄倉庫
5月9日	和歌山県岩出市	議会広報の編集発行
5月18日	奈良県葛城市	防災行政無線
5月22日	大阪府和泉市(会派)	新庁舎建設
6月30日	島根県安来市	あわじ島まるごと食の拠点施設

観光の実態と今後に向けて

総務常任委員会

4月20日の委員会

▼停電対策

問 沼島において暴風波浪警報発令中に長時間の停電が発生。夜間での避難路も暗く見えない状況であった。今後の課題にしてほしい。

▼市民協働課

問 市民協働課設置の

意味は。答 対話と行動の市政の実現にむけて設置。地域と行政をつなぐ調整役。市民交流センターの位置づけは二面性あり、地域の事務局として市役所の補完機能も持っている。

▼総合計画

問 総合計画についてのパブリックコメント

の検討はどこですのか。答 庁内での総合計画推進委員会と、民間委員での総合計画審議会において検討する。

▼窓口の混雑

問 窓口での混雑時に、待ち時間が表示されるカード発券機の設置や案内係りを雇用してはどうか。

▼主な質疑

問 観光協会として行政に求めることは。答 アクセス問題において、例えば首都圏から阿波おどり空港を利

用し、淡路島に来るにはほとんどがタクシーである。また、淡路島に着いてからもアクセスが不便である。公共交通機関の整備をお願いしたい。

問 日本遺産の認定を受けたが今後の活用は。答 淡路島の知名度が上がり、関東圏へのアピールにつながった。地域の資源として収益につながるよう、観光協会と、行政と一体となったPRをしたい。

議会だより・議会報告会の先進地を調査

議会広報広聴常任委員会

▼管外調査

(5月17日～18日)

●鳥根県安来市議会

議会だよりに難解な議会用語の解説を載せており、読みやすい紙面づくりに有効である。障がい者差別解消法への対応のため、SPコード(音声コード)を導入していたが、使用頻度が少なく、今年

度より音声データCDを希望者に送付する取り組みを開始している。議会報告会は、市内5か所の各中学校区で年2回開催、会場を小学校区単位の交流センター持ち回りとし、参加対象者やテーマを絞った開催、地域特有のテーマの選定など参加者増加の努力をしている。

子どもが安心して通学できるように

産業厚生常任委員会

4月13日の委員会

▼サッカー場建設に向けての調査状況

問 昨年度、サッカー場建設調査業務委託料を計上し、候補地の調

査を行っていたが、現状は。答 様々な法律規制や経費の問題もあり難航している。大規模な施設がいいのか、子ども達が利用できるような身近な施設がいいのか、



▲子どもたちの通学を見守る地域住民(松帆)

委員会調査レポート

ここが知りたい

各委員会では、議会閉会中も調査活動などを行っています。4月～6月の議会閉会中に行われた委員会の概要を報告します。市ホームページに会議録を順次掲載していますので、ご利用ください。

検討していく。

▼サイクリングコースの整備

問 本年度、サイクリングサポート支援事業として、サイクルステーションの整備、サイクリングコースの作成等が行われるようだが、自転車が安全に走行できる道路整備も併せて行われるのか。

5月11日の委員会

▼登下校中等における子どもの見守り

問 子ども達が声をかけられた際に安心できるように、地域の人だと認識できる目印を身

答 今後、どの道路をどのよう整備していくのか計画していきたい。

●鳥取県北栄町議会 一般質問記事の答弁要約を、質問者でなく委員が担当するなど、委員会に強い権限が与えられ「正しく、見やすく、読みやすく」をモットーに、思い切った編集がされていると感じたが、委員の負担は相当に大きい。地域行事やサークル活動など、広く市民が登



▲議会広報広聴活動の先進地を調査(鳥取県北栄町議会)

に付ける等、地域全体での意思表示が必要ではないか。答 地域の人同士が喚起し合うことで、見守りに対する気運も高まる。そのような活動を考えてい。

▼イカナゴ水揚げが激減

問 今年イカナゴの漁獲量が減少している

が、今後の対策は。答 海の栄養素不足、海底の酸素不足の改善のため海底耕耘や、潮流の流れを作り出す攪拌魚礁を設置しているが、今後も県と協議しながら調査、取り組みを続けていく。

議会活性化・議会改革の先進地を調査

議会運営委員会

議会活性化・議会改革の先進地調査のため4月24日～26日に次の3市を訪問した。

●福井県大野市
議会運営委員会では4月24日に、当市との友好都市である大野市議会を訪問し、議会報告会、議会モニター制度等議会運営について、大野市議会の議長、議会運営委員長他より説明を受け、意見交換を行った。その後、大野市の案内により天然記念物のイトヨの里を見学した。

●新潟県糸魚川市
4月25日は、こちらも当市と友好都市の新潟県糸魚川市を訪れ、



▲議会改革について調査（石川県加賀市議会）

●石川県加賀市
4月26日は、早稲田大学の全国市議会改革度調査ランキング8位で議会改革の進んでいる石川県の加賀市議会を訪れ、議会事務局長と

選挙直後ということもあり、議会事務局長と次長の対応で、政務活動費、議会の災害時の対応、議会改革の取り組み等についての調査を行った。

市議会議員政治倫理条例の課題について調査研究の課題について調査研究（中間まとめ）

政治倫理条例に関する調査特別委員会

調査報告

市議会議員政治倫理条例は平成17年9月に施行、平成20年12月に一部改正され現在に至っている。少子高齢化に伴う人口減少問題など取り巻く環境の変化に



▲政治倫理条例に関する調査特別委員会

対応するため、条例の課題や再確認の意味も含め検討すべきであるとのことから特別委員会が設置された。特に、政治倫理条例第3条（政治倫理基準）、第12条（市工事に關する遵守事項）、政治倫理条例施行規則第2条（団体等及び長の範囲）などを中心に検討している。

また、地方自治法第92条の2（議員の兼業禁止）と本条例の解釈について、市の顧問弁護士である小田耕平氏を迎え、次の説明を受け、条例本来の目的について検討も行って

たは、地方政治の不正・腐敗の防止とは別の目的で運用されていないか。なお、6月定例会においては、より専門的に地方自治法第100条の2（専門的事項に係る調査）の規定により小田氏に調査を依頼することを議決した。本委員会では、次の9月定例会までに結論を得ることを目標に協議を進めている。

全国市議会議長会表彰

川上 命 議員に表彰
吉田 良子 議員に表彰

全国市議会議長会より、永年地方自治の発展と振興に貢献された議員2名が表彰されました。

■在職20年以上特別表彰
川上 命 議員



■在職15年以上表彰
吉田 良子 議員



「政務活動費」28年度分 実績報告

政務活動費は、議員の審議能力や政策立案能力の強化を図るため、調査研究に必要な費用の一部を会派に対し交付するものです。

交付金額は、1人あたり年間15万円（月額12,500円×12カ月）として、会派に交付しています。28年度の実績一覧表は下記のとおりです。詳細は市ホームページ、または閲覧用書類（議会事務局に設置）をご覧ください。

注）交付申請のない会派には交付していません。使われなかった残金は市に返納されます。交付額を超えた分は支給していません。

平成28年度 政務活動費収支状況一覧表

会派名 (人数)	交付額	執行額								計	返納額
		調査研究費	研修費	広報 広聴費	要請・陳情 活動費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	事務費		
ゆづりはクラブ (4月～12月まで5人、 1月～3月まで4人)	712,500	612,735	30,000	0	0	0	0	0	13,431	656,166	56,334
市民連合・無所属クラブ (4人)	600,000	339,082	14,670	0	0	0	0	64,174	26,333	444,259	155,741
日本共産党 南あわじ市議団(2人)	300,000	169,540	43,300	0	0	0	0	152,511	20,804	386,155	0
政真クラブ (2人)	300,000	286,626	12,000	0	0	0	0	0	0	298,626	1,374
誠道クラブ (2人)	300,000	245,958	0	0	0	0	0	0	0	245,958	54,042
南あわじ市公明党 (1人)	150,000	41,532	0	0	0	0	0	16,200	3,240	60,972	89,028
成相クラブ (1人)	150,000	124,833	6,000	0	0	0	0	18,081	0	148,914	1,086
青空クラブ (2月～3月まで1人)	25,000	13,930	0	0	0	0	0	0	0	13,930	11,070
南あわじ市議会青年団 (3月、1人)	12,500	0	0	0	0	0	0	11,988	2,694	14,682	0
計	2,550,000	1,834,236	105,970	0	0	0	0	262,954	66,502	2,269,662	368,675

●●●●●●●●●● 第3回南あわじ市子ども議会を開催します ●●●●●●●●●●

日時：平成29年 7月31日(月)
午後2時～午後4時30分
場所：南あわじ市議会 議場
(南あわじ市役所本館4階)

傍聴へお越しください



昨年の子ども議会の様子

参加児童及び質問内容一覧

質問順	小学校名	氏名	性別	質問内容
1	松帆	針立 いつき	女	これからの南あわじ市について
2	阿万	阿部 亘 汰	男	南あわじ市における社会体育の未来
3	辰美	下川 颯 大	男	南あわじ市を良くするために
4	八木	谷 田 昊 世	男	使っていない土地や田んぼを活用して
5	市	坂 東 佑 月	女	南あわじ市を住みやすい場所にするために
6	三原志知	仲野 真 優	男	安全な町美しい町にするために
7	神代	榎本 希望 来	女	うずしおを世界遺産に
8	湊	松本 康 一	男	公園に笑顔あふれる南あわじ市
9	賀集	藤本 毅 郎	男	夢の施設
10	沼島	村田 卓 斗	男	沼島の未来
11	倭文	上田 は な	女	朝の通学路について
12	広田	いけ 本 虹 呼	女	美しい南あわじ市に
13	榎列	あまの野 更 咲	女	地域の人との交流の場
14	北阿万	まえ田 莓 花	女	私たちの遊び場について
15	福良	おさな 船 夢 空	女	南あわじ市の将来のために
16	西淡志知	ほの原 颯 太	男	学校を交流の場に

8月の委員会等日程

委員会	日時・場所・内容
議会運営委員会	8月22日(火) 午前10時 委員会室
	第73回市議会定例会について
総務常任委員会 <small>ネット中継あり</small>	8月21日(月) 午前10時 委員会室
	所管事務調査
産業厚生常任委員会 <small>ネット中継あり</small>	8月24日(木) 午前10時 委員会室
	所管事務調査
政治倫理条例に関する調査特別委員会 <small>ネット中継あり</small>	8月3日(木) 午後1時 委員会室
	市議会議員政治倫理条例に関する調査研究
議員協議会	8月18日(金) 午前10時 議員協議会室
	議決事件の追加について

第73回南あわじ市議会定例会日程(9月)

◆開会はすべて午前10時～

すべてネット中継あり

	会議日	会議内容(予定)
第1日	8月28日(月)	1. 常任委員会調査報告
		2. 平成28年度南あわじ市一般会計、特別会計等決算認定(説明、質疑、委員会付託)
		3. 条例案上程(説明、質疑、委員会付託)
		4. 平成29年度南あわじ市一般会計補正予算案上程(説明、質疑、委員会付託)
		5. その他の案件上程(説明、質疑、委員会付託)
第2日	9月5日(火)	1. 一般質問
第3日	9月6日(水)	1. 一般質問
第4日	9月7日(木)	1. 一般質問 2. 追加議案上程(説明、質疑、委員会付託)
予備日	9月8日(金)	
第5日	9月25日(月)	1. 特別委員会・議会運営委員会調査報告
		2. 追加議案上程(説明、質疑、討論、表決)
		3. 付託案件委員会審査報告(質疑、討論、表決)

	会議日	会議内容
委員会	9月19日(火)	総務常任委員会
	9月20日(水)	産業厚生常任委員会

※28年度決算は、決算審査特別委員会を設置し、審査を行います。審査の日程は、決算審査特別委員会設置後、9月11日(月)・12日(火)・13日(水)・14日(木)で調整を行う予定です。

※ 議会の日程等は毎月ホームページに掲載しています。

編集後記

議会広報広聴委員会では広聴活動として、意見交換会、議会報告会、子ども議会などがあります。第8回議会報告会が、5月12日に福良地区公民館で開催されました。多くの皆様方と、色々な意見を直接聞く機会としては大変意義がありました。また本日、第3回子ども議会が開催される予定であります。子どもたちが考えた夢のある質問に対して、各議員が誠心誠意答えていきたいと思っております。

子どもたちが一生懸命質問する姿を、多くの人たちに見ていただけたらと思います。きっと、素晴らしい子ども議会になると確信していますので、多くの人の傍聴をお願いします。

(廣内)